



視聴・ご参加ください 6月8日窓口負担ゼロの会イベント 医療にかかれる社会に

協会も賛同している「医療費の窓口負担ゼロの会」が、6月8日(日)午後2時~4時30分、兵庫県保険医協会でイベントを開催する。ライブ配信も予定。実行委員会参加協会は、神奈川、千葉、兵庫、大阪歯科各保険医協会。

受療権について

イベントでは、基調講演として弁護士伊藤真さんがお金の心配なく医療にかかれる国民の権利を法律家の立場からお話する。そのほか実行委員会の参加協会から、窓口負担ゼロの会、語り合った。概要を紹介する。

4月3日、イベントに先立って実行委員会参加役員により座談会を開催した。窓口負担ゼロの会の参加協会から、窓口負担ゼロの会、語り合った。概要を紹介する。

座談会

負担はゼロ 保険外しやめよ お金の心配させない医療へ

取り組みは 神奈川から

めたシンポジウムも予定している。ライブでも配信。広く参加を呼びかけたい(今号にチラシ同封)。



神奈川・二村氏



千葉・宇佐美氏



兵庫・西山氏



大阪歯科・小澤氏

が医療機関を受診する時のハードルになっていく。いつでもどこでも誰の動きも止めなければならぬがゼロの会は、窓口負担をなくして、受療権を守るべきだと主張している。

でも財布の中身を気にせず、安心して医療にかかれる社会を目指そうと始めた。事務局は神奈川協

会にあって賛同を呼びかけている。2007年から活動を開始し、今では賛同者数が37916人。賛同団体が74。

皆保険の原則は窓口ゼロ
(宇佐美・千葉) 国民皆保険が1961年に施行されたが、基本的な原則が3つ。現物給付、フリーアクセス、自由開業制。これが3本の柱だ。現物給付は当たり前に、国民皆保険制度そのものが想定しているのが窓口負担ゼロだ。

歯科は差額徴収があった
(宇佐美・千葉) おおい座談会参加者：二村哲先生(神奈川県保険医協会理事)、宇佐美宏先生(千葉県保険医協会副会長/全国保険医団体連合会・歯科代表)、西山裕康先生(兵庫県保険医協会理事長)、小澤力先生(大阪府歯科保険医協会理事長/全国保険医団体連合会副会長)

スで受診抑制されるのが一番良くない。要するに、もうお金持ちしか医療機関を受診できないと。基本的な人権である受療権を阻害するということだ。最悪のアクセス抑制ではないか。私が気になったのは、医療だけが平等にしているというところ。歯科が若干、医療だけが平等にしているというところ。歯科が若干、医療だけが平等にしているというところ。歯科が若干、医療だけが平等にしているというところ。

方を持っていた。
(小澤・大阪歯科) ただ先発医薬品の保険外の問題。長い間歯科でやってきたことをいよいよ医療科にやり出した。窓口負担の話とは別に、保険外で医療サービスやるぞと。これはもう保険に入れないぞと。こういう手法を持ってきているので、やっぱり医療の窓口負担ゼロと合わせて保険の範囲は狭めさせない、むしろ広げていくという主張も合わせてやっていく必要があるのではないかと。歯科ではもともと自費診療があったので、窓口負担がなんぼになるかわからんという不安があった。お金の心配をせずに患者が受診できる環境が必要だ。それがゼロの会の取り組みだ。

大阪府歯科保険医協会 第57回定期総会・記念講演会のご案内

「21世紀の歯科医療はどうなる」

日時 6月1日(日) 15時~17時
場所 ホテルモントレグラスミア大阪21階



講師・栗野 秀慈氏
九州歯科大学理事長・学長

協会は、6月1日(日)午後1時からホテルモントレグラスミア大阪21階で第57回定期総会を開催する。自公維の3党が4兆円の医療費抑制に向けて動き出す中、協会は会員アンケートや先生方の声を国政に届け、診療報酬の期中改定や2026年改定に向けて、大幅引上げを実現するなどの方針を議論する。非常に重要な時期に開催される総会に、ぜひ多くの会員に参加を呼びかけたい。総会後の午後3時~5時、同会場で記念講演を開き、「21世紀の歯科医療はどうなる」と題して、九州歯科大学理事長・学長の栗野秀慈氏を講師にお話いただく。講師の抄録を紹介する。

(日時詳細は3面行事予定参照)

抄録

近年、我が国を取り巻く環境が大きく変わろうとしています。そのような中で、現代の歯科医療も同様に大きな変革期を迎えております。今回の講演では、「21世紀の歯科医療はどうなるか」と

申し込みはこちら



第57回定期総会

6月1日(日) 13:00~15:00
(於: ホテルモントレグラスミア大阪21階)

総会議事 13:00~15:00
記念講演 15:00~17:00

【議案】

- ①情勢23・24年度活動総括、25・26年度活動方針案
- ②規約改定
- ③24年度決算報告案、監査報告
- ④25年度予算案
- ⑤事務局長・名誉役員承認の件

第61回通常評議員会

5月17日(土) 18:00~20:00
(於: M&Dホール)

【議案】

- ①情勢、23・24年度活動総括、25・26年度活動方針案
- ②規約改定
- ③24年度決算報告案、監査報告
- ④25年度予算案
- ⑤理事、監事の選出

(評議員の先生には別途、ご案内をお送りしています)

求人情報の更新

協会ホームページの求人情報を5月15日に更新しました。

URL
http://osk-hok.org/job/

必要があるのでは無いだろうか。(N)

歯界

ヨーロッパでは、5月1日(メーデー)は「夏の訪れを祝う日」として古くから祝日とされていた。1886年5月1日に、シカゴで労働環境の改善を求め大規模なゼネラルストライキが起こり、以降労働者が権利を主張する日として各国に広がった。日本では1920年5月2日に東京の上野公園で第一回メーデーが開催されたが、第二次大戦中禁止され、戦後労働組合の活動とともに再開した。労働環境の向上、人権、労働基本権の確立、民主主義の発展、恒久平和の実現に向けて一定の役割を果たしてきたが、近年、労働組合が弱体化し、資本家と対峙する気概は感じられない。これは、産業構造の変化、規制緩和と民営化、新自由主義的な経済政策による組合活動の抑制、雇用形態の多様化(非正規雇用の増大)などが要因に挙げられる。SNSなどを利用した新たな団結形態も模索しながら、緊張感を持った労使関係を再構築する必要があるのでは無いだろうか。